

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(特殊清掃合同会社 長野支店)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐため、定期的なアンチハラスメント研修を実施し、社内差別防止委員会を設置。相談窓口を設け、匿名での報告を受け付ける体制を整備しています。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			セクハラ、マタハラ、パワハラ防止のため、従業員向けにハラスメント研修を実施。専用の相談窓口を設置し、迅速に対応するためのマニュアルを整備。違反が確認された場合は、厳正な処罰を行います。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8										16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			過度な長時間労働を防ぐため、勤務時間の管理システムを導入。定期的に労働時間のモニタリングを行い、過労防止のための休暇取得を推奨。従業員の健康状態をチェックする仕組みも整備しています。									8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	外国人労働者への差別防止のため、多文化共生研修を実施。労働者の権利と義務に関する情報を多言語で提供し、相談窓口を設けて迅速に対応。定期的なフォローアップミーティングを行います。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			作業中の事故防止のため、安全管理マニュアルを整備し、定期的な安全衛生研修を実施。労働環境の衛生管理に努め、定期的に職場の安全チェックを実施。緊急時対応マニュアルも整備しています。			3						8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			労働者のメンタルヘルス維持のため、定期的なストレスチェックとカウンセリングを実施。メンタルヘルスに関する研修を行い、従業員が気軽に相談できる体制を整備。社内専門の相談員を配置しています。			3																
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が活躍できる環境を整備するため、ダイバーシティ推進チームを設置。女性や障がい者、高齢者など多様な人材の採用とキャリア支援を強化し、働きやすい職場環境を構築。インクルージョン研修も実施しています。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			適切な能力開発と教育訓練の機会を提供するため、社内研修プログラムを整備。キャリアパスを明確化し、個々のスキルアップを支援。外部研修や資格取得支援制度も導入し、成長の機会を提供しています。				4	5.5				8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金の原則に沿った公正な待遇を実現するため、給与体系と評価制度を透明化。定期的な給与見直しを行い、全従業員に対して公平な報酬を提供。雇用形態に関わらず、平等な待遇を確保します。					5.5				8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			従業員の健康を維持し生産性向上を図るため、健康診断やフィットネスプログラムを提供。健康増進に関する情報提供や、健康相談窓口を設置。健康的な職場環境を推進し、従業員のウェルビーイングを向上させます。			3						8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の管理を適切に行うため、分別収集を徹底し、リサイクル可能な資源を最大限再活用。廃棄物の発生源を特定し、削減計画を実施。適正処理業者と連携し、法令遵守のもとで廃棄物を処理しています。												11.6	12			14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			エネルギー使用量と温室効果ガス排出量を正確に把握するため、定期的にエネルギー監査を実施。エネルギー消費と排出量をモニタリングし、データを記録・分析。改善点を特定し、省エネ対策を講じます。								7.3							13				
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			温室効果ガスの排出量を抑制するため、エネルギー効率の高い設備の導入を推進。省エネ対策として、照明や空調の自動制御システムを導入し、従業員への省エネ意識向上のための研修を実施しています。									7.2 7.3					12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質の使用量を抑制するため、定期的な在庫管理と使用量のモニタリングを実施。代替可能な安全な物質への置換を推進し、使用時には適切な安全対策と管理手順を徹底しています。			3.9			6.3						11.6	12.4						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA (Responsible Business Alliance)（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定